

# 里親なら

## 奈良県の

## 子ども施策のご紹介

奈良県子ども・女性局

局長 谷垣 裕子

奈良県里親会の皆様には、日頃より社会的養育の推進にご尽力いただいておりますこと、また、新型コロナウイルスが未だ完全には収束しない中、感染対策に配慮した養育を行っていただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、県では、令和4年4月に「奈良っ子はぐくみ条例」を施行しました。この条例では、「子どもが権利の主体であること」を明示したうえで、子どものはぐくみに関する施策を総合的かつ計画的に推進していくこととしております。また、3月に策定した「奈良っ子はぐくみ基本方針」においても、「子どもを権

(題字)  
興福寺・多川俊映元貫首



### (主な内容)

- ・子ども施策のご紹介 (1)
- ・奈良市子どもセンター設立 (1)
- ・奈良県里親会の活動 (2)
- ・里親啓発活動報告 (3)
- ・おしゃべり広場 (4)
- ・里専新任挨拶 (4)
- ・お知らせ (4)
- ・奈良市子どもセンター紹介 (4)
- ・編集後記 (4)

現在、奈良県における里親及びファミリーホームで生活する児童は55名、里親等委託率は21・8%となっております。

里親の皆様方におかれましては、人の成長の礎となる大切な時期に、子ども達の自己肯定感や、人が互いに尊重し合う心をはぐくむ、極めて重要な役割を担っていただいております。

これからも、奈良県里親会の皆様のご協力もいただきながら、「里親登録数の増加」と「里親委託マッチング率の向上」のための取組を進め、里親養育を必要とする全ての子どもたちが里親のもとで育つことができるよう努めてまいります。

また、令和4年4月には奈良市に児童相談所（奈良市子どもセンター）が開設されましたので、奈良市とも密接に連携し、里親委託の推進に取り組んでまいります。

末筆ながら、奈良県里親会の益々のご発展を祈念致しますとともに、子ども達と皆様にとつて幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

### 奈良市子どもセンター設立

県内人口の約3割が暮らす奈良市では、子育てや子どもの虐待等に関する相談が著しく増加傾向にある中、かねてから中



### 第24号 2023年1月

発行 奈良県里親会  
住所 天理市別所町 715-3  
児童家庭支援センターてんり内  
TEL 0743-85-5567  
FAX 0743-68-1721

奈良県里親会

### 奈良市子どもセンター 野儀あけみ所長

### 「親子、そして地域と 一緒に歩む施設へ」

児童相談所に寄せられる相談や通告には、未然に防止できたかもしれないケースがあります。新しいセンターでは、親子と「にじいろ」の職員や相談員との、何気ない会話が早期発見のきっかけとなり、早い段階で適切な支援先につなぐ体制づくりが始まっています。一人でも多くの子どもたちが社会で羽ばたけるように、サポートしていきたいと思っております。

また、子どもと日々接する学校や園、支援機関とともに、子どもや家庭を見守っています。この児童相談所が支援機関の悩みに寄り添い、支援すること、地域全体がより良い方向に転じるような相乗効果が生まれたらうれしいです。

「児童相談所があつて良かった」とみなさんに思ってもらえるように、地域と一緒に歩んでいける施設にしていきたいです。

【4面に関連記事】

# 奈良県里親会の活動

令和4年度  
奈良県里親会総会  
令和4年6月4日

天理養徳院講堂にて、児童家庭支援センターの久保里美所長、里親支援専門相談員の方々を迎え、令和4年度奈良県里親会総会を開催しました。

今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染防止に配慮して会員の皆様にはZOOMでの参加をお願いしました。  
久保所長のご挨拶の後、



第1号議案「令和3年度事業報告・決算報告」、

第2号議案「令和4年度事業・予算」についてそれぞれ可決されました。

その後、第3号議案「役員の変更」可決後に、役員との互選により、会長、副会長についても再任することとなりました。

### 全国里親会会長表彰

★陣川弘明・美和  
★奈良県里親会会長表彰

★澤井恒昌・陽子  
★中村和志・尚子  
(敬称略)

### 令和4年度近畿地区里親研修会

令和4年6月19日

今年度の近畿地区里親研修会が、「はぐくむ喜び共に見つけよう！」をテーマに京都市生涯学習総合センター・京都アスニーで開催されました。

感染症対策を施し、後日のオンライン配信を併用して行われた今回の研修会、基調講演では、「要



支援家庭に対する理解と「アプローチ」と題し、子どもの虹情報研修センターの川崎二三彦センター長が登壇。

大きな災害や事故などで注目された「あいまいな喪失」の概念を紹介し、社会的養護のもとで暮らす子どもに共通する一つとして、大きなストレスとなる「元の親から離れる喪失体験」を意識した上で、子どもにどんな背景があるのか、そして自身が抱えている心の重荷に寄り添うために、里親として何ができるのかを、子どもの発達ステージごとの様々な実例や、対応する中で感じられたことなどを交えて話されました。

午後からは三つの分科会が行われ、参加者はそれぞれが抱える問題にヒントを求め、熱心に聞き入っていました。

### 令和4年度第1回里親スキルアップ研修会

令和4年9月18日

第1回スキルアップ研修会が、天理養徳院講堂にて、昨年に引き続きS式「イライラしない子育て法」と題して開催されました。

講師はCPAトレーナーで徳島県里親会の西森律身会長でした。

子どもたちをしつけるときの、こちらの言い回しや、伝わりやすい環境や、伝わりやすい表現について勉強しました。

### 令和4年度全国里親大会

令和4年10月8・9日

第67回全国里親大会が、甲府市で対面開催＋オンライン配信により開催されました。

大会テーマとして「コロナ禍からの復興！ウイズコロナの時代に備えて、何ができるかをみん

なで考えよう」を掲げ、行政説明（令和6年4月1日施行予定児童福祉法等の改正他）や基調講演「すべての能力・行動に遺伝の影響あり、遺伝的才能を生かす道がある」、シンポジウム、分科会が行われました。

### 令和4年度第2回里親スキルアップ研修会

令和4年11月20日

第2回スキルアップ研修会が、天理養徳院講堂にて、公益社団法人家庭養護促進協会神戸事務所米沢普子主任ケースワーカーを講師に迎え開催されました。

テーマは「真実告知」子どもが抱えている喪失感」と題して、今年度は子どもが抱えている喪失感という表現の難しい心の声について、大人である私たちが、気付き学びが大切であることを勉強しました。

2歳の子とご縁があった家族になりました。これから真実告知をどのようにしていけば良いのか

と考えることがあり、今回の研修内容はとても参考になりました。

一番印象に残っているのは、『生まれてきてくれてありがとう』『出会えてうれしいよ』『あなたと家族になれてうれしいよ』と伝え続けることが大事なこと。一度伝えただと終わりでないということ。困った時にはサポートを求めるときもできると教えていただきました。

### 夏の交流会

令和4年9月4日  
さんさいの里キャンプ場

3年ぶりに夏の交流会を、天理教青少年野外活動センター「さんさいの里」で開催しました。大人29名、子ども18名が参加しました。

当日は好天に恵まれ、カレー作り、カラコロやネイチャークラフト、ボールダリング、モルック、



キャンプファイヤーと盛りだくさんの内容でした。  
 ＊ ＊ ＊  
 最初は、とても緊張しており、1日どんな風になるのか不安でもありました。キャンプ場の心地よい風ときれいな緑何より温かい雰囲気はほぐされ、親子で楽しませていただきました。  
 一番印象的だったのは、年齢に関係なく仲良くしてくれる周りの子どもたちとのことです。  
 手を繋いでくれたり、あーしよう、こーしたらいいよ、と上手にリードしてくれたり。人や状況を受け入れる心が、このような集いや日々の生活の中で自然と育っているんだな、と思えてなりま



せんでした。

そんな子どもたちから、たくさんのエネルギーをもらい、色々な里親さんとお話できたことで、私自身気持ち新たにすることができました。

このように、みんなで共有した楽しい時間というものは、子どもたちだけでなく私たち大人にとっても、これからの成長過程で自信や支えとなつて後押ししてくれることがあるのではないかな、そう感じた1日でした。(M里親)

冬のお楽しみ会

令和4年12月4日 佐保短期大学

奈良佐保短期大学にて奈良県里親会のクリスマス会が開かれました。



参加者は里親・里子、関係者等79名。

午後からはレストラン鹿野園に移して昼食会兼親睦会が開かれました。

＊ ＊ ＊

「冬のお楽しみ会」では、クリスマス帽を被った子どもたちの可愛い姿を見て癒されました。

会場は華やかに飾り付けされ、学生さんが子どもも大人も楽しめるゲームを用意してくださり、



緊張していた私たち家族もリラックスできました。

その後は、おしゃべり広場で交流があり、先輩里親さんのお話はいつ聞いても勉強になることばかりで、悩みや迷いを相談する度に気持ちが軽くなり、また自分たちもベストを尽くそうと思え、育児相談の大切さを改めて感じていきます。

最後は、親睦会を兼ねた昼食会のバイキングでお腹いっぱい頂きました！

途中、サプライズの歌やドラえもんじやんけんしたりと楽しい時間を過ごすことができました。(M里親)

里親啓発

活動報告

里親月間啓発活動

令和4年10月3日

全国里親月間として近鉄生駒駅周辺で、9名の参加により里親啓発リーフレットを配布しました。コロナ禍でしたが、感染防止用手袋も着用して、



多くの方に受け取っていただき、里親制度について地域での理解を深めていただく機会となりました。里親制度についてご質問をいただく場面もありました。



第28回なら・ヒューマンフェスティバル

令和4年10月22日

第28回なら・ヒューマンフェスティバルが、五條市上野公園総合体育館において開催され、里親会の広報啓発活動として里親啓発パネル・写真の展示を行いました。

里親会からは事務局員

オレンジリボンキャンペーン

令和4年11月1日

と会員が参加し啓発活動を行いました。

県内一斉児童虐待防止推進月間における街頭啓発として、近鉄奈良駅周辺で県子ども家庭課主催の街頭啓発が開催され、里親会も参加し、虐待防止啓発リーフレットを配布しました。

合わせて里親啓発リーフレットの配布も行い、多くの方に関心をもっていただきました。

奈良交通バス 里親啓発広告掲示

令和4年9～11月

赤い羽根共同募金助成事業活動の一環として、奈良交通乗合バスの後部ステッカーに広告を掲示しました。

期間は9月1日より3か月間、奈良営業所エリア内の路線バス3台に掲示されました。



### おしゃべり広場

里親支援専門相談員（里専）が配置されている天理養徳院と飛鳥学院で、毎月2回『おしゃべり広場』（里親情報交換会）を奈良県里親会と里専が協力し、開催しています。

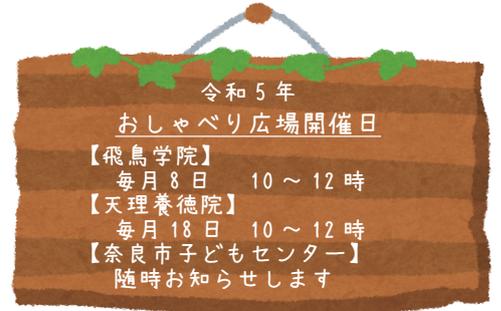
今年度から、新たに開設された「奈良市子どもセンター」も会場に加えて、不定期ですが開催させて頂きました。

様々な皆様のご協力に、改めて感謝を申し上げます。

おしゃべり広場は、里親登録の種別や委託の有無、登録年数を問わず、どなたでもご参加頂けます。

毎回、里子ちゃんの近況報告や、里親さん同士だからこそ分かり合える喜び、お悩みを気兼ねなくおしゃべりすることが出来ます。

それぞれのご予定に合わせ、短時間の参加も大歓迎ですので、ぜひお気



軽にお越し下さい。

もちろん、お子様のご参加もOKです。ご参加お待ちしております！

#### 【里専新任挨拶】

今年度から、前任者に代わって里親支援専門相談員（天理養徳院）を務めさせて頂くことになりました。平澤勇哉と申します。

前任者よりさざんかホームも引き継ぎ、現在、女子児童3名と実子1名と共に生活をしています。里親さんにより近い存在として、少しでもお力になれるよう、飛鳥学院の村井とも協力しながら精一杯努めてまいります。

今後とも、宜しくお願い致します。

### お知らせ

#### 【第3回】

#### スキルアップ研修会

令和5年3月4日（土）

天理養徳院講堂

「学齢期の子どもたちが抱える課題について」  
講師 神澤創氏

#### 【養子里親のつどい】

令和5年3月12日（日）

天理養徳院講堂

#### 【里親支援】

#### リユースバザー

令和5年3月18日（土）

天理養徳院研修室

おしゃべり広場後

#### 【里母のつどい】

令和5年3月26日（日）

レストラン「鹿野園」

#### 【里セツ開催】

児童家庭支援センターてんりでは、里親制度説明会「里セツ」を随時開催しております。

#### ▼月イチ里セツ

毎月第2日曜日午前中  
支援センターてんり  
お知り合いにぜひお声がけください。参加無料。

### 奈良市子どもセンター紹介

4月に柏木公園の隣にオープンし、親子で遊びながら専門のスタッフに育児の相談ができる施設としてまた中核市で4番目にできた児童相談所として取り組みを始めています。ワンストップで子育てを支援する新たな拠点、奈良市子どもセンターです。

#### ① こじいる

「地域子育て支援センター」と、「キッズスペース」の2つの機能を合わせた愛称です。「ちょうどよい場所」をコンセプトに、わくわくする遊具と広場のスタッフがお待ちしております。

#### 地域子育て支援センター

おおむね0～3歳児の親子のためのスペース。親子で一緒に遊ぶだけでなく、親同士の情報交換や子育て

コーディネーターに育児相談ができます。また、地域の

子育て関連情報の提供や親子が一緒に成長できるような講座も開催します。

#### キッズスペース

#### （屋内遊び場）

0～6歳までの未就学児をもつ親子のためのスペース。プレイリーダーが遊具の使い方をサポートします。

### 子ども家庭総合支援拠点

子どもと接する中で感じる疑問や不安に、大小問わず寄り添う相談窓口を開設しています。妊娠時から子どもが中学・高校生になるまで、親子が家庭で抱える悩みすべてが対象です。相談内容から、行政や学校、支援者とながり、一緒に解決策を考えます。

#### ③ 児童相談所

年々増加する児童虐待に相談・対応する児童相談所虐待の通告だけでなく、親が病気のため子どもと一緒に暮らせない等の相談や、さまざまな障害・子どもの非行等の相談にも対応しています。家庭から離れて生活した方が望ましいと判断した子どもを一時的に保護する一時保護所も市内に開設しています。

#### ④ 発達支援

未就学児を対象に、発達の相談に応じます。発達検査や専門相談（言語聴覚士等）、園巡回相談によって発達段階を確かめ、一緒に手立てを考えます。おおむね2～3歳の就園前の子どもを対象に、発達支援親子教室「ふたば」を新設し、3か月ごと全12回のプログラム等を実施しています。

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症が流行りだして3年が過ぎました。コロナ禍だからこそ、いつもよりも気をつけて子どもたちの様子を見ているのを感じます。

学校での作品に、「この子は才能があるのではないか」と、親バカの目で見ているのに気づき自分で笑ってしまうことがあります。

「今日は私が作る」と言って台所に立っている里子（高1）の姿に、成長しているのをしみじみ感じ入る瞬間もあります。成長する姿を垣間見れて、私たちが「あなたに会えて良かった」と今、心に感じています。そして、いずれ子どもたちが成長していき、振り返ってみて「私たちに会えて良かった」と思ってもらえる里親になりたいと思います。

そんな日が来ることを楽しみにする日々です。